新規就農した有機農家による新しいムーブメント

さいたま有機都市計画

さいたま市で、私は農家になった。

平成13年に合併により、埼玉県初の百万都市として誕生した
「さいたま市」。人口は１３０万人！
平成15年には政令指定都市に移行。

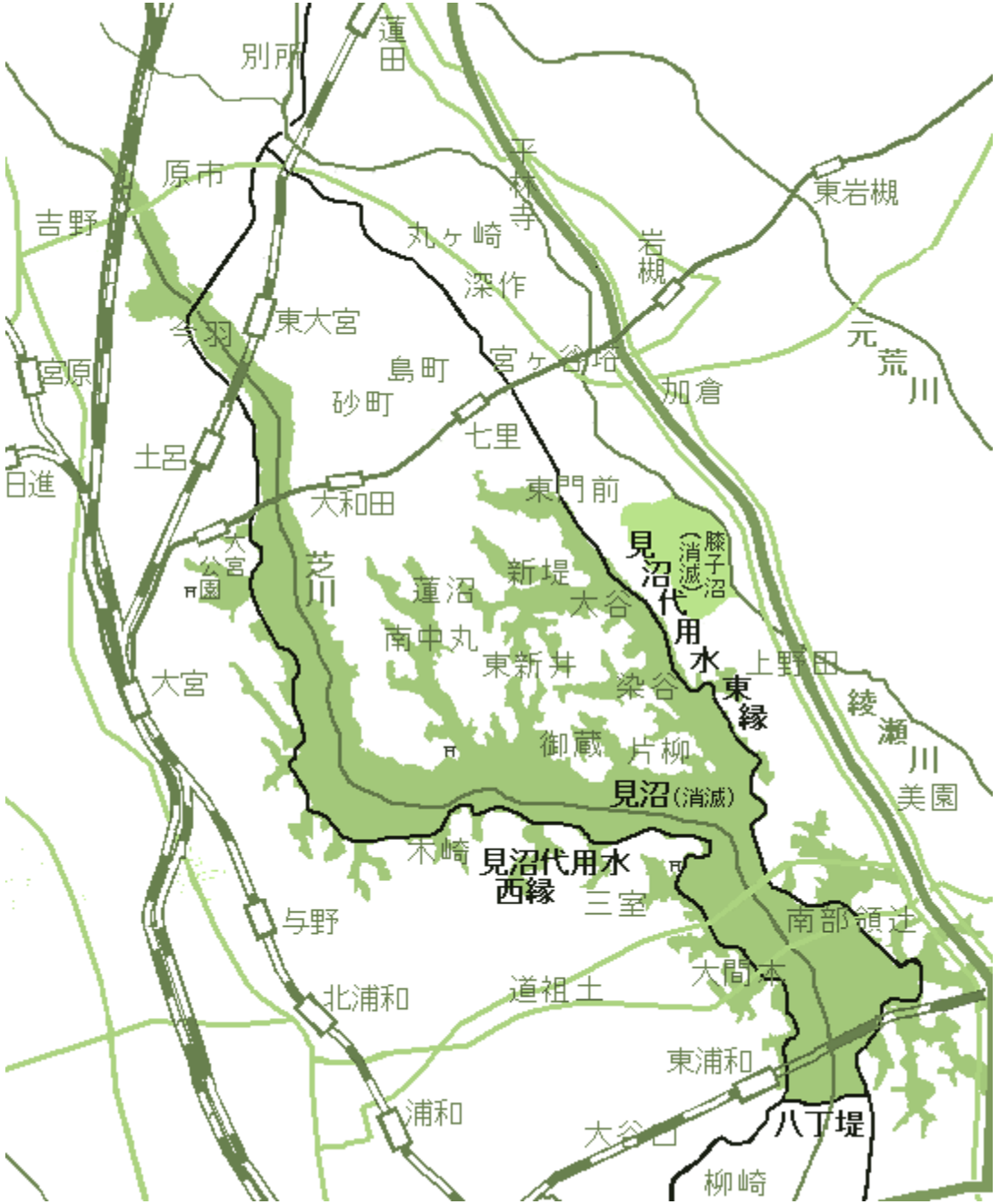
気候は、一年を通して穏やか。

数本の河川が通る平地であり、
自然災害も少ない。

見沼田んぼ

大宮駅などの主要駅から2～3kmという近さにあり
約1260haという広大な面積を持つ、大規模緑地空間。

たんぼや畑、雑木林、河川や
見沼代用水によってつくられる
田園風景と、 生きものを育む
豊かな自然が現在も残されている。



農業をするには　抜群の環境！

４年前
女ひとり。新規就農！

有機農業・露地野菜
有機JAS認証・2ha
子２人・単身赴任

特集2 さいたま市の農業の未来を担っていく人たち

さいたま・こどもやさい
こばと農園

さいたま市の見沼田んぼで有機農業をしている。
田島 友里子さん

さいたま・こどもやさい「こばと農園」の「幸せ」

農業どっぷりの生活に「幸せ」を実感！
命を支える「野菜」を次世代へ

農業に興味を持ったきっかけとは？

祖父が兼業農家で、良く手伝っていました。農業の道を選んだのは、幼少期のその体験が大きいですね。一時は美術の教師を目指して進学しましたが大学院を卒業してから、すぐに北海道に農業研修に行き、農業どっぷりの生活に身を置きました。社会の歯車になって働くことにピンとこなくて、「自分で食べ物を作って、お金をもらう」ことにすごく納得できたんです。一日農作業やって疲れて帰ってきて…。これでご飯が食べられるなんて、なんて幸せ！「天職だ」と思いました。

学びを活かして実際畑をし
どう感じたか。

独立して3年目となる今、1歳と5歳の
最中です。息子を保育園に、娘を幼稚園
ら畑に出勤。忙しい時は子どもが寝て
のパッキングをしたり（笑）。やれる
ります。大変なことも多いですが、今、
業者としてスタートを切れたので、
な人を巻き込んで、自分の目指す農業
きたいですね。

今後の目標

直近の目標は有機JASを取得すること。そし
化すること。私が作りたいのは、子どもが食べ
と思える野菜。農業はたくさんの人の命を支え
自然に寄り添った「自然農」をどんどん広げて
どもたちにきちんと命を継承していきたいで

しかし、
課題ばかりの日々。

経営面

「所得が少ない」 52.1％

「技術の未熟 さ」34.7％

「設備投資資金の不足」32.9％

生活面

「思 うよう に休暇がとれない」 47.5％

「健康上の不安（労働 がきつい）」 43.7％

新規就農×有機農業の場合・・さらに

経営が軌道にのるまで、
慣行農業の**約２倍**の時間がかかる。

まわりに同じような有機農家がいないので、
栽培技術や販路などの相談も出来ず、、、**孤独**！

これらの課題を解決するために
自分たちでグループをつくろう！

さいたま有機都市計画

SAITAMA ORGANIC CITY PLANNING

どんな
グループか？

新規就農×有機農業者

農業者と消費者　と分けず、
地域の人たちみんなでやる。

グループをつくっただけで．．．

- **孤独**　でなくなった

- 〈仲間・ライバル〉が出来たことで、**やる気がアップ**

- １つの農家では出来ないことが出来る！
  →さいたま市での　有機農業　の可能性が拡がった！

2020〜2023
活動内容

イベントの主催・共同出店

野菜セットなどでの共同出荷

有機給食への取り組み

堆肥づくり　〜地域の有機資源の活用〜

有機農業に関する勉強会などの開催

新規就農希望者のサポート

２０２２年からはじまった、
有機農家だけの大マルシェ！

有機農家数	３０軒
来場者数	３０００人以上
売上	５時間で２４０万

PARCO
PARCO

SETAN
歯科
農園

サラダ向き
ミニ力かぶ
ソテー向き
あやめ雪かぶ
80円

未来に繋ぐた
塚本郷
Re農vationプロジ

SETAN
PARCO
THE ANGE

他のイベントにも･･･共同出店！

共同出荷　～野菜セット～

有機給食

→　市民からの要望が高い

- まずは市内の１番小さな学校からはじめた。
- 市内の保育園へ共同出荷

堆肥づくり

さいたま有機都市計画
SAITAMA ORGANIC CITY PLANNING
オーガニック
Session!
第一回
有機農業ってなんだ
さいたま有機都市計画
×
小口広太（食と農の社会学者）
有機農業の実践者と研究者、そして消費者。
有機農業の今とこれからを一緒に創造していく

自主勉強会

新規就農希望者のサポート

農業研修先として受け入れられる。

就農した数年後のリアルを見せることが出来る。

ハウスや農業機械の共同使用。

売り先や地域の農家さんなどの紹介。

2020年の発足からわずか3年で…

農家メンバー　　**5軒　→　21軒**

サポートメンバー　　**８０名以上**

成果

精神面　　同じような境遇の仲間がいることで、
課題の共有などができるようになった。

経営面　　イベントや共同出荷で経営の安定化や、
新たな販路の開拓に繋がった。

地域の活性化　**さいたま市が有機農業で盛り上がりつつある！**

一人で困っていることも
みんながいれば、
相談・解決できる。

繋がり
⇓
可能性

《　今後の展開　》

さらなる拡がりを目指し、
さいたま市=有機農業
のイメージをつくる！

2025年には、
オーガニックビレッジへ！

その実現のために…

まずは自分たちが楽しむ！！

そしてその姿を見せていく！